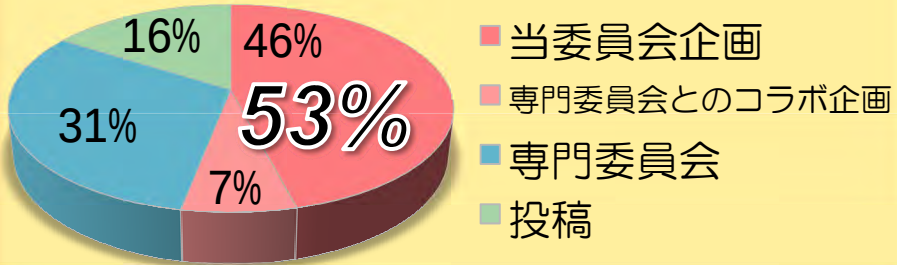


# 会誌広報委員会はこんな活動をしています

## 2009年度「知財管理」原稿分類

※2009年4月～2010年3月に掲載した論説、資料、判実、判研、今更、Q&A、座談会の合計（134件）



半数以上(53%)が当委員の企画原稿です

## 特集号「三位一体」経営に関する座談会



2010年3月号「知的創造サイクルの実現に向けて」というテーマで、各業界の有識者にお話を伺いました。

## 特別企画 「知的財産の動向と将来」



中山信弘先生へのインタビューを企画し、各専門委員会と協力しながら進めました。（5月号掲載予定）

## 委員会の風景



委員の企画について、白熱の議論を展開！

様々な知財テーマを企画し「知財管理」に具現化させています

# 会誌広報委員をやってよかったことは？

— 現役委員、OB委員に聞きました —

## 現 役 委 員

参加委員の知的財産全般についての知識がつく。

参加委員の知的財産に対する視野・観点が広がる。

知財業界の動向、最新情報、今後の方向性を早期に知ることができる。

原稿企画を通して、知的財産の有識者と知り合うことができる。

異種業界の参加委員と知り合え、人脈作りができる。

他社の知的財産部の実態が聞け、自社に反映することができる。

参加委員のコミュニケーション能力がアップする。



## O B 委 員

所属企業の問題点を企画に上げて、解決の糸口となる情報を入手できた。

原稿企画を通して知り合った弁理士、大学の先生等に社内研修を依頼できた。

弁理士事務所を開拓するうえで、有益な情報を得ることができた。



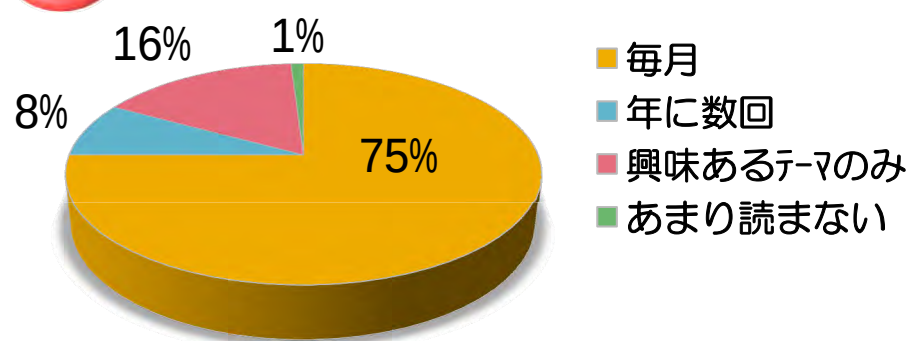
参加委員の経験を通し派遣企業にも大きなメリットがあります



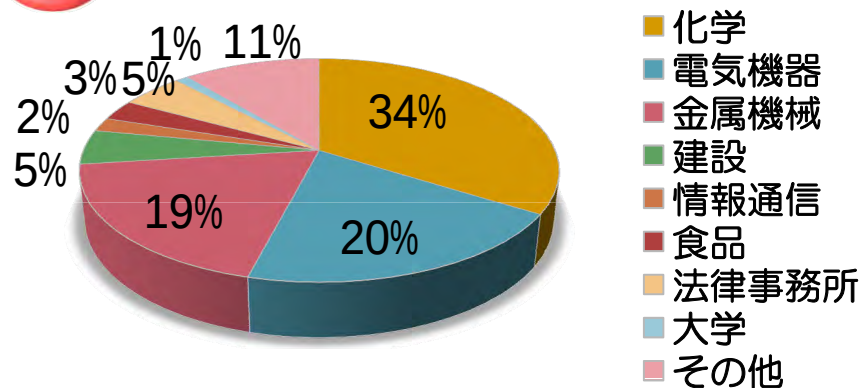
# 2008年度「知財管理」読者アンケート結果

—知財協会員1184社に聞きました—

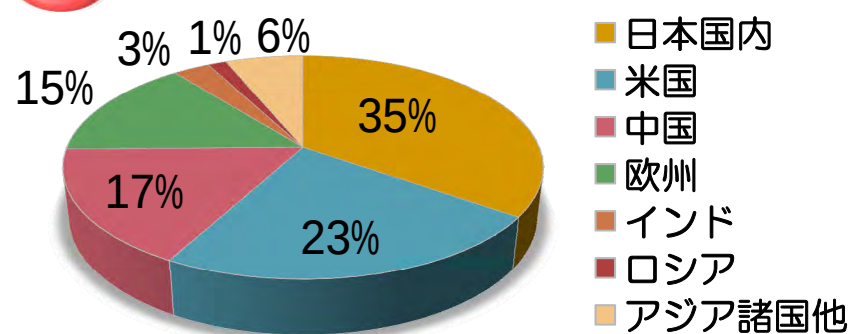
## Q1 「知財管理」を読む頻度は？



## Q2 アンケート回答者の業種



## Q3 関心のあるテーマは？（国別）



### 企画して欲しいテーマの回答例

「人材育成」「知財マネジメント」「著作権」「商標の活用」「海外知財事情」  
（他多数のご意見あり）

### 特に印象深かった記事ベスト3（敬称略）

- 1位 6月号 知的財産マネジメント第1委員会  
『知財人材育成のための部門長心得3箇条  
-あなたのやり方はまちがっている-』
- 2位 4月号 知的財産マネジメント第1委員会  
『経営に資する知的財産活動のあり方』
- 3位 11月号 龍華明裕  
『特許ビジュアライゼーション  
-エレクトロニクス・ソフトウェア分野における知財戦略-』

■ 関心の高いテーマは企画化し、今後の紙面に活かしていきます ■

# 2009年度 知財管理ダウンロードランキング

2009年4月よりJIPAのホームページから知財管理に掲載された論文をダウンロード出来るようになりました。  
2009年4月から12月の間にJIPAのホームページからダウンロードされた件数を集計しました。（会員に限る）

## 年間総合ダウンロード件数（敬称略）

|    |    |     |                                     |                           |
|----|----|-----|-------------------------------------|---------------------------|
| 1位 | 論説 | 2月号 | パテント・ポートフォリオの構築方法                   | 鶴見 隆                      |
| 2位 | 今更 | 2月号 | 米国情報開示義務について 今更シリーズ No.16           | 飯田 陽介他                    |
| 3位 | 論説 | 5月号 | サポート要件の裁判例の現状と今後の課題                 | 村上 聡他                     |
| 4位 | 論説 | 7月号 | 戦略的思考を持つ知財人財の育成方法<br>—人財不足は部門長の責任!— | 知的財産マネジメント<br>第1委員会第3小委員会 |
| 5位 | 資料 | 5月号 | 特許マップによる研究・開発を成功させるための知的財産活動        | 有賀 康裕                     |

## ホームページ掲載後1ヶ月間のダウンロード件数（敬称略）

|    |    |      |                                         |                   |
|----|----|------|-----------------------------------------|-------------------|
| 1位 | 論説 | 2月号  | パテント・ポートフォリオの構築方法                       | 鶴見 隆              |
| 2位 | 論説 | 11月号 | 実施例を拡張ないし一般化（上位概念化）した請求項が認められるための要因について | 特許第1委員会<br>第2小委員会 |
| 3位 | 論説 | 10月号 | 進歩性が争われた判決の研究<br>—技術的思想に重点をおいた判決を中心として— | 特許第1委員会<br>第3小委員会 |
| 4位 | 今更 | 6月号  | 特許マップ 今更シリーズ No.20                      | 小川 隆司             |
| 5位 | 論説 | 2月号  | 拒絶査定不服審判における審決の研究                       | 特許第2委員会<br>第2小委員会 |

■ 特許の可視化、権利化関連の論説に関心が高い傾向が見られました ■